

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

国鉄「分割・民営化」阻止／三里塚二期着工粉碎／
10・20三里塚 総決起を通し 11月ストの先頭にたつ

19/5 津田沼支部大会開催

津田沼支部第八回定期大会が十月十五日、津田沼電車区講習室に代議員・傍聴者六十名を結集し開催され、徹底的な討論のうえに、支部が火の玉となって十一月ストへ総決起する方針を決定した。〔津田沼支部通信員・発〕

自信と確信をもってストライキを打ちぬこう

重見副支部長の開会あいさつ、議長に内田代議員を選出した後、あいさつにたった山下支部長は「国鉄労働運動の中で闘う方針を確立しているのは勤労千葉だけだ。去るも地獄・残るも地獄の中で起つて闘う以外ない。支部は、自信と確信をもって十一月ストを打ちぬき全力で闘う」と断固たる決意を明らかにした。決戦の三里塚からかけつけてくれた島村良助さんは、東峰裁判被告の家族の一員として権力に対するにえたぎる怒りを明らかにするとともに、支援カンパへの御礼を述べ「九十年完成などと言っているが、私達がいるかぎり完成などありえない。中曽根を倒すため、10・20第一公園をうめつくしてほしい」と訴えられた。

中江船橋市議も、かつてない

闘いの最先頭で共に闘う決意を述べられた。

千百名の先陣となり勝利の道きりひらけ

本部を代表してたった中野委員長は「今こそ伝家の宝刀をぬくことが求められている。津田沼は大変な闘いが想定される。いかなる反動もはねのけ、全組合員が火の玉となって勝利への先陣を切り拓いてほしい」と勤労千葉の拠点津田沼の奮起を訴えた。

続いて、一般経過報告・会計報告・運動方針案・予算案が提起され、質疑・応答に入った。

「全支部の牽引車となる」――闘う方針を決定

主な質問・意見は、①カーテン問題は、国労の屈服で攻撃の焦点となってきた。闘争指令をだしてほしい。②駅助勤者への名札を口実とした差別への



「自信と確信をもって11月ストをうちぬく」――あいさつに立つ山下支部長

明確な対応。③地震時、すいみん時間も十分とらせず乗務させた問題への対応。④検修の欠員問題。⑤ストに起つとき一般の労働者に呼びかける内容をもつとにつめよう。⑥青年部の中には、徹底的にやろうという気運が大半を占めている。

などが出され、執行部・本部より答弁がなされ、「栄光ある津田沼こそ全支部のけん引車となろう」と全体で確認し、満場一致で「方針」を確立した。

最後に、新役員選出・組合歌合唱・団結ガンバローで大会を成功裡に終了した。

新役員体制

支部長・山下	幸・電連士	44
副支部長・重見敏夫	〃	39
書記長・綾部光男	〃	39
書記次長・高石正博	〃	39
執行委員・深見四郎	〃	43
〃・伊藤詔一	〃	43
〃・川口春雄	〃	38
〃・椿勇	〃	35
〃・高橋邦彦	〃	39
〃・田中康宏・運修	〃	30
青年部長・川崎昌浩	〃	27

あす10・20総決起だ

勤務外全員で10時成田運転区へ・正午・三里塚 第一公園

示そう・組合の団結力。築こう・11月スト体制の第一歩